

SIGグループサステナビリティレポート

# Sustainability Report

# 2026



Social Innovation Generator

# 編集方針

Editorial Policy

Chapter 01

## 基本的な考え方

SIGグループは、企業価値の持続的な向上を実現するため、サステナビリティを経営上の重要課題の一つと位置づけ、当社グループが特定したマテリアリティ（重要課題）に沿った取り組みを推進しています。これらの取り組みを通じて、中長期的な視点に立った経営基盤の強化と社会的価値の創出の両立を目指しています。

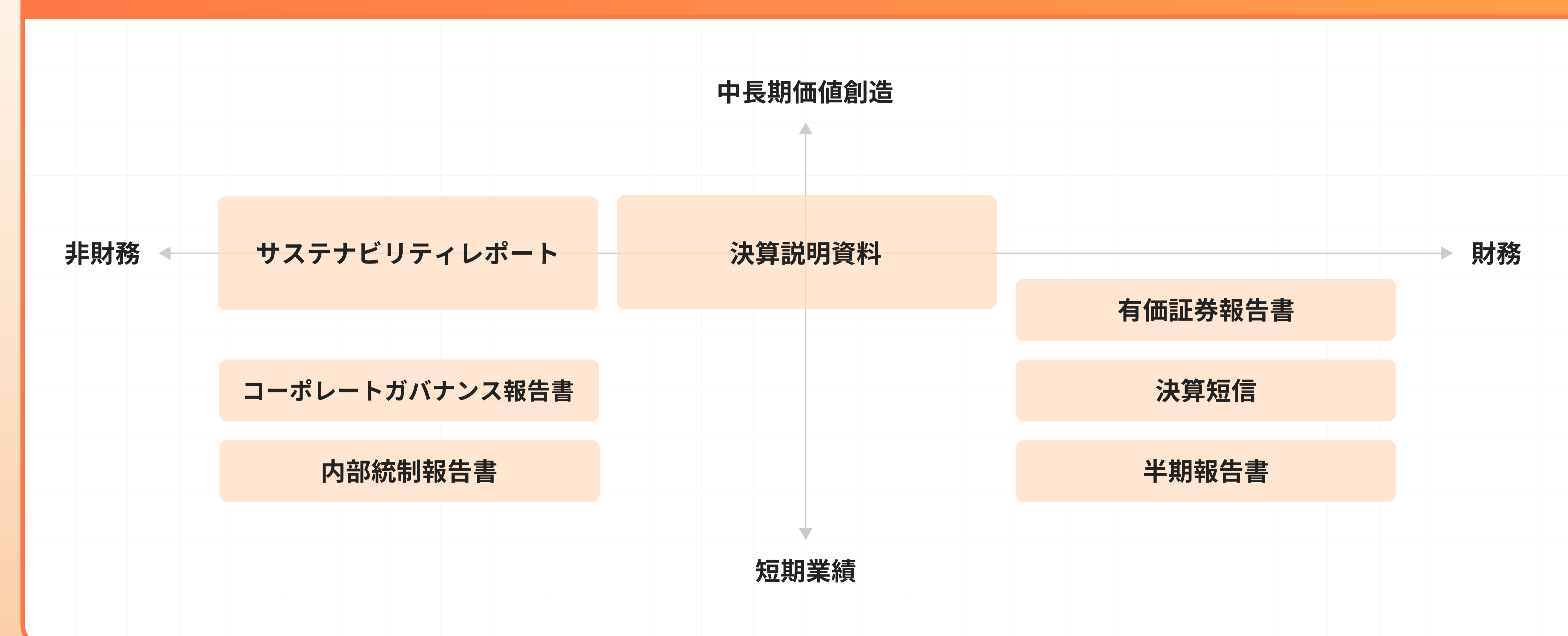
「SIGグループサステナビリティレポート 2026」は、当社グループのサステナビリティに対する基本的な考え方及びマテリアリティに基づく具体的な取り組みとその進捗について、ステークホルダーの皆さまに適切にわかりやすくご報告することを目的としています。

本レポートの対象範囲は株式会社SIGグループ及び連結子会社とし、2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）における活動内容及び成果を中心に記載しています。

本レポートを継続的に開示することで、当社グループのサステナビリティに関する取り組みについての透明性を高めるとともに、説明責任の強化を図ってまいります。

SIGグループは、今後も事業活動を通じて社会的課題の解決に取り組むとともに、サステナビリティに関する取り組みを適切に開示し、その実効性の向上に努めながら持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めてまいります。

### 情報開示体系図

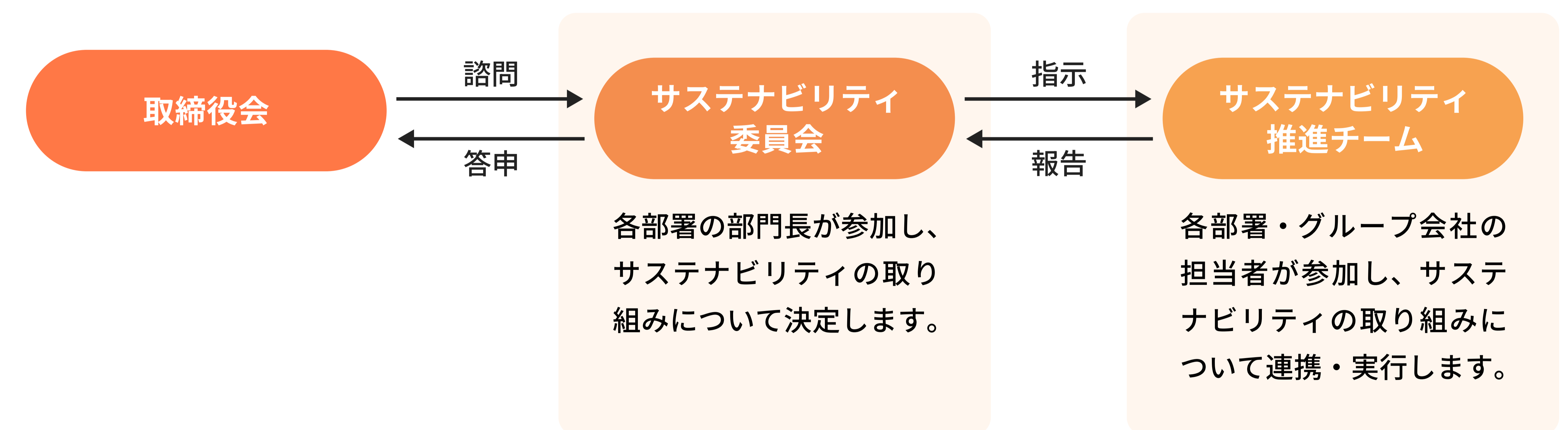


## 目次

編集方針	2	サステナビリティ基本方針	10
SIGグループトップメッセージ	4	マテリアリティ	12
グループ会社SIGトップメッセージ	6	DX Innovation	14
グループ会社のご紹介	7	HR Management	16
SIGグループの事業領域	8	Governance	20

## サステナビリティ推進体制

SIGグループではサステナビリティについて組織全体として対応を行うために、複数の部署やグループ会社間で連携し、組織横断的に取り組んでいます。



## 会社概要

会社名	株式会社SIGグループ
所在地	本社：東京都千代田区九段北4-2-1市ヶ谷スクエアビル8F グループ会社拠点一覧：東京・横浜・酒田・仙台・甲府 名古屋・金沢・福井・大阪・福岡
代表者	代表取締役社長 石川 純生
設立	1991年12月16日
従業員	787名（連結：2026年3月末日時点）
グループ会社	株式会社SIG (SIG) 株式会社アクト・インフォメーション・サービス (ACT) ユー・アイ・ソリューションズ株式会社 (UIS) 株式会社エイ・クリエイション (ACR)

# SIGグループトップメッセージ

SIG Group Top Message

Chapter 02



ITイノベーションで、  
社会をもっと豊かに

株式会社SIGグループ  
代表取締役社長

石川 純生

## GROUP MISSION

マルチステークホルダーとの共創と、多様な人材の育成によって  
ITイノベーションを実現し、持続可能な社会の実現と業績の拡大  
によって社員の幸福を目指す

## SIGグループがサステナビリティに取り組む目的

私たちは創業以来 35 年以上、システム開発やインフラ・セキュリティサービスを行ってきました。IT・AI などの技術発展により社会はさらに便利になっていますが、まだまだ産業の中に埋もれている課題や地域固有の課題など、IT の力で解決できる課題があふれています。

これらの社会課題から生まれるニーズ・可能性を起点とし、グループミッションを基礎とした IT イノベーションによるサステナブルな社会の実現を目指します。



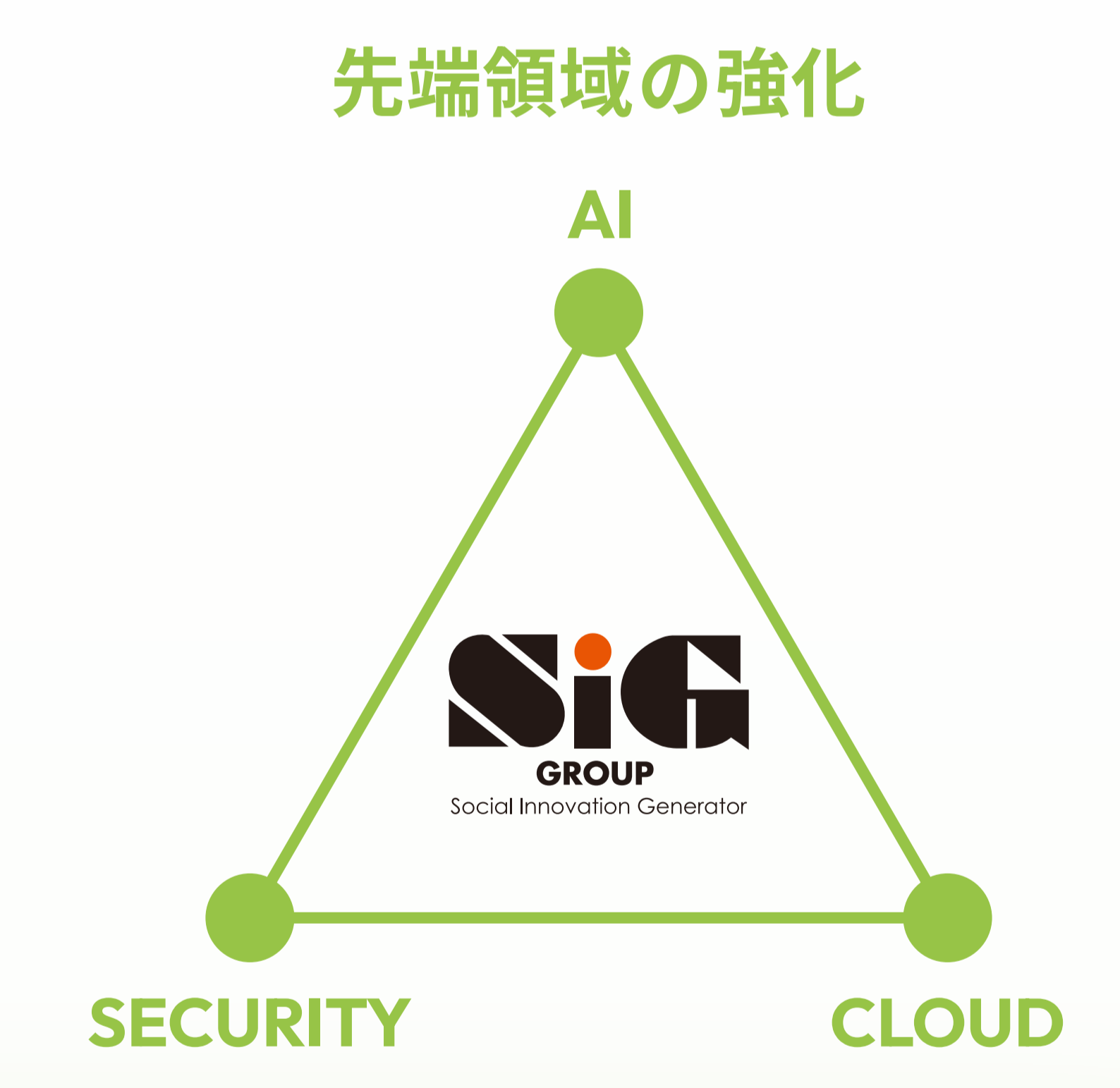
## サステナビリティ基本方針に込めた想い

私たちは社会課題を「経営環境に大きな変化をもたらす要因」として「事業機会」と「リスク」の両面で捉え、3つの重要課題を定めました。

<p><b>01</b> <b>DX Innovation</b></p> <p>マルチステークホルダーとの共創とSIノウハウを用いたDXイノベーション</p> <p>官公庁や教育機関をはじめ、通信、金融など社会インフラを支える情報システムの構築に携わっています。 産官学の連携により、新しい価値の創造へ貢献します。</p>	<p><b>02</b> <b>HR Management</b></p> <p>課題解決型人材の育成と人的資本マネジメントの強化</p> <p>全国的な拠点展開という強みを活かして多種多様な人材を採用。全社規模で先端技術に取り組む組織「ITAC/CAIC」を活用し、幅広いニーズへ対応可能な人材の育成に取り組んでいます。 また、部門横断組織「サステナビリティ推進チーム」により、さまざまな価値観をもつ従業員のES向上にもつなげています。</p>	<p><b>03</b> <b>Governance</b></p> <p>社会的倫理や規範を遵守した企業統治</p> <p>取締役会をはじめ、サステナビリティ委員会及びコンプライアンス・リスク委員会にて適切に監視・管理・検討を実施。 また研修を通じたコンプライアンスの徹底など、企業として遵守すべき倫理と規範を持続させるために、常に取り組みを行っています。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## グループとして取り組んでいきたいこと

私たちはこれまで培ってきたノウハウを基盤に、先端領域への取り組みを一層強化し、社会や産業のデジタルトランスフォーメーションを支える存在であり続けたいと考えています。



POINT **カギは人材**

急速に進化するデジタル技術は、社会課題の解決に大きな可能性をもたらす一方で、新たなリスクや課題も生み出しています。私たちはこれらを事業機会として捉え、官公庁や教育機関をはじめとする多様なパートナーとの共創を通じて、新たな価値の創出と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

その実現を支えるのは「人」です。働き方改革を推進し、多様な価値観や幅広い年齢層の人材が活躍できる組織づくりを進めるとともに、先端技術分野を中心とした人材育成を強化することで、持続的な企業成長と社会価値の創出を目指します。

# グループ会社SIGトップメッセージ

SIG Top Message



課題解決型人材を育成し、  
現場の課題に寄り添う。

株式会社SIG  
代表取締役社長 **石川 泰久**

Chapter 04

# グループ会社のご紹介

Group Companies



知的価値創造と高品質 IT サービスで  
持続可能な社会に貢献する

高品質な IT サービスと人材力を基盤に、企業の DX 推進や基幹業務改革を支援。生成 AI・クラウド・データ活用など成長領域で価値を創出し、公正で効率的な経営により持続的成長と企業価値向上を実現します。

株式会社アクト・インフォメーション・サービス

代表取締役 **渡井 明**

## SIG 石川社長の考えるサステナビリティ

SIGでは、創業以来一貫してITの力で社会をより良くすることを使命としてきました。技術の進化をたしかな価値として社会へ還元していくために、エンジニアの意識向上・エンジニアファーストを掲げ、今後、更なる課題解決型人材の育成に努めていきたいと考えています。



人材育成と多様性の尊重を軸に、経営層と現場の距離を縮めることで、さらに風通しの良い企業文化を目指します。社員一人ひとりが自身の仕事にやりがいと自信を持てる会社でありたい。その実現こそが、サステナブルな企業経営を推し進めるとともに、社会への価値提供を一層強くすると考えています。

## 地域創生に貢献する全国10の拠点

事業運営をする中で、長年にわたり取り組んできたのが地域創生です。都市への人口集中により地域の過疎化が課題となる中、全国への拠点展開を進めることで地域の雇用創出に貢献しています。少子高齢化や地域格差などの社会課題に対して向き合うべく、地域ごとの課題や多様化するニーズに対応できるIT企業を目指します。

首都圏にとどまらず、全国のお客様のパートナーとして、官民一体となるシステム開発やインフラ・セキュリティサービス事業の発展に、SIGの地域拠点の展開という強みを活かしてDXイノベーションを実現します。

## SIGとして取り組んでいきたいこと

昨今、加速度的に深刻化している少子高齢化や労働力不足に対してITの力で貢献したいと考えています。そのためにも人材育成やダイバーシティの促進など、年齢や性別、地域などにかかわらず、ITによる課題解決に寄与する人材を増やし、効率的な社会の実現を目指します。

これからも **Going ALL Together to SUCCESS** の精神のもと、SIGらしいサステナビリティ活動を進めてまいります。



IT 技術を提供し社会の課題を解決、  
顧客とともに成長し続ける

人と技術の力で高付加価値を創出し、顧客の課題解決と成長に貢献。エンジニアの市場価値向上と上流工程への挑戦を通じて技術力を高め、品質と信頼を基盤に任せられ続ける IT パートナーとして持続的に成長していきます。

ユー・アイ・ソリューションズ株式会社

代表取締役 **小野 賀津雄**



覚悟をもってそれぞれの役割を果たし、  
チーム力で問題解決のできる、  
より POSITIVE な集団へ

常に社会責任を果たし、透明性と誠実さを備えたホワイト企業として持続可能性を追求しアップデートを続けることで、企業価値を上げて市場より選ばれる企業となります。

株式会社エイ・クリエイション

代表取締役 **日置 邦宏**

# SIGグループの事業領域

Business Areas of the SIG Group

## OUR BUSINESS

私たちは、畜産などの一次産業から行政、金融にいたるまで、あらゆる業界業種のお客様へシステム開発・インフラ構築・セキュリティサービスを提供し、安心安全でより効率的な社会インフラの実現に貢献しています。

### システム開発

System Development

お客様のニーズに合わせて  
企画立案・開発・保守

### インフラ構築

Infrastructure Development

サーバーやネットワーク  
機器の構築・運用・保守

### セキュリティ対策

Security Solutions

セキュリティに関する  
コンサルティング・診断・運用



# サステナビリティ基本方針

Sustainability Policy

私たちは、社会課題を「経営環境に大きな変化をもたらす要因」として「事業機会」と「リスク」の両面で捉え、**DX Innovation**・**HR Management**・**Governance**へ注力することで、ITの力で社会の課題を解決しながら、持続的な事業の成長を目指してまいります。

Chapter 06

## GROUP MISSION

マルチステークホルダーとの共創と、多様な人材の育成によってITイノベーションを実現し、持続可能な社会の実現と業績の拡大によって社員の幸福を目指します。

### Mission 環境変化と社会課題

### Chance & Risk チャンスとリスク

**人口動態の変化**

少子高齢化社会 平均寿命の延伸  
生産年齢人口の減少

少子高齢化による人材不足

長時間労働や  
人手不足の解消

人材確保の  
困難化

Chance! → Risk!

**社会の変化**

人権尊重の高まり グローバル化  
価値観の多様化 地域の過疎化  
働き方改革の促進

ダイバーシティ / 地域格差の拡大

医療や教育などの  
地域格差の解消

多様な価値観の広がり  
による離職率の増加

Chance! → Risk!

**技術革新**

IoT・AIの進化  
インターネットの普及  
課題解決型人材の需要増加

技術革新による  
セキュリティリスクの拡大

セキュリティ  
対策の需要増加

サイバー攻撃による  
セキュリティリスクの増加

課題解決型IT人材の  
重要性の高まり

情報漏洩の危険性

Chance! → Risk!

**気候変動**

自然災害の増加 地域温暖化  
生物多様性の損失 資源枯渇  
海洋・水質・土壌の汚染

自然災害・環境問題の深刻化

省エネ  
再エネの促進

クライアントの調達条件である  
環境対策の必須化

Chance! → Risk!



# マテリアリティ

Materiality

社会及びSIGグループにおける課題について実現可能性・機会創出・リスクマネジメントの観点から優先順位づけを行い、3つの重要なマテリアリティを特定しました。

## 3つのマテリアリティ

Chapter 07

**01 DX Innovation**

マルチステークホルダーとの共創と、SIノウハウを用いたDXイノベーション

創業より課題意識を持っていた「日本の生産性の低さ」などの社会課題に対し、私たちが得意とする産官学の連携、地域拠点の展開を活かしてDXイノベーションを実現します。

**02 HR Management**

課題解決型人材の育成と人的資本マネジメントの強化

IT人材の不足が叫ばれる中、未経験人材や外国人労働者を積極的に採用・育成し、働きやすい環境を整備することでIT課題の解決を目指します。

**03 Governance**

社会的倫理や規範を遵守した企業統治

リスクを把握し、いち早く予防することでステークホルダーとの良好な関係を構築します。

### 具体的なマテリアリティの項目



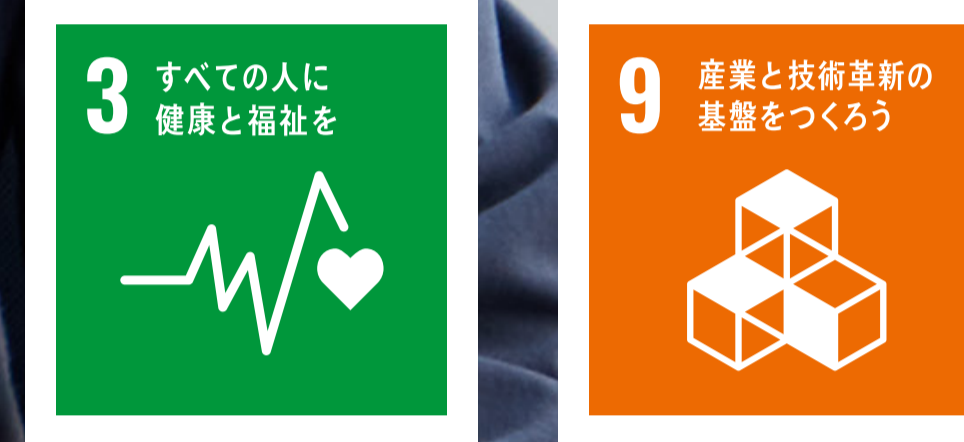
# DX Innovation

Chapter 08

## ITの力で 社会インフラの未来を動かす

株式会社SIGグループ  
常務執行役員 AI Security (AIS)  
事業戦略室長 兼 CISO

**有城 剛**



SIGグループは、経済と生活を支える社会インフラの領域で、IT による横断的な課題解決を進めてきました。社会インフラを支える IT イノベーターとして、DX Innovation の考え方や取り組みについて SIGグループ 常務執行役員 AI Security (AIS) 事業戦略室長 兼 CISO に話を聞きました。

### - 「DX Innovation」への想いを教えてください。

私たちは創業より 35 年以上、あらゆる業界業種のお客様へシステム開発・インフラ構築・セキュリティサービスを提供してきました。社会が急速に発展していく中で、さまざまな課題が山積しています。そんな課題に IT の力で立ち向かうため、DX Innovation を推進しています。

### - 具体的にはどのような取り組みをしていますか。

AI などの技術革新が進む中、サイバーリスクが増加の一途を辿っており、NICTER\*のダークネット観測で確認された総観測パケット数は、2015 年に比べて約 **9.8 倍** にのぼります。一方で、諸外国と比較して日本におけるセキュリティ人材は不足しており、日本の大きな課題となっています。それらの課題に対して、私たちは情報漏洩を防ぐ社内用 AI、お客様へのセキュリティサービスやクラウドサービスにより、効率的で安心・安全な基盤を提供しています。

\*NICTER: 国立研究開発法人情報通信研究機構の運用する大規模サイバー攻撃観測網

### 社会課題

- ✔ 少子高齢化による人材不足
- ✔ 都心部と地域での格差の拡大
- ✔ AI などの先端技術の革新によるセキュリティリスクの高まりなど



## AI



### 情報漏洩を防ぐ社内用生成 AI

AI 活用が一般的となった一方で、セキュリティリスクの懸念があるため、社内で安全に使用できる生成 AI として「SIGPT」を開発。従業員の AI 活用により、**効率的なシステム開発を促進するだけでなく、社内の書類業務の効率化など、あらゆる面で活用していきたいと考えています。**

## SECURITY

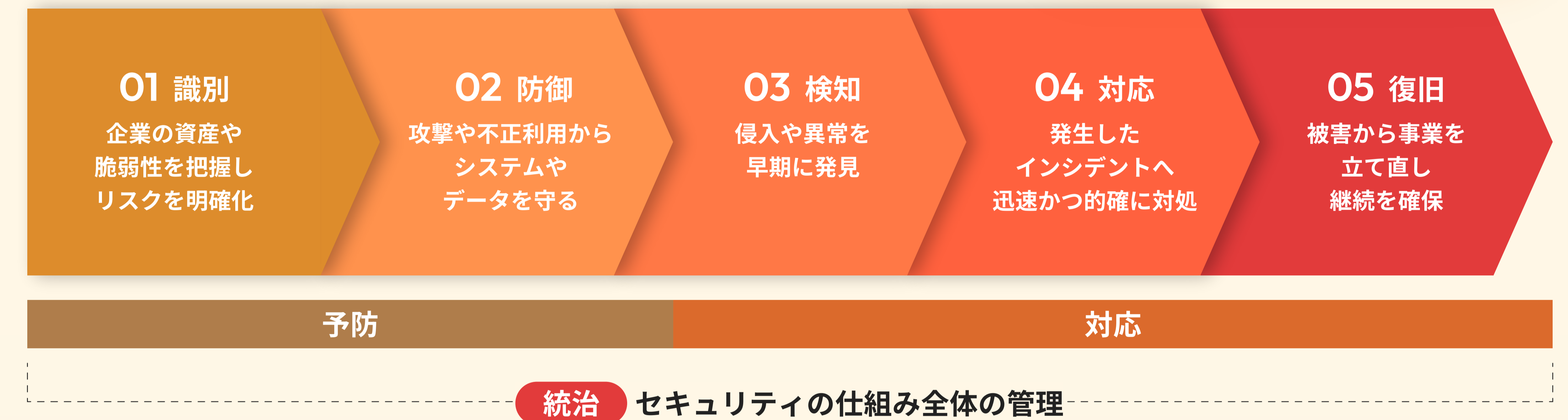
### お客様のセキュリティ対策にワンストップで対応

私たちはお客様のセキュリティ領域の対策について、コンサルティングから運用までワンストップで支援しています。

**Pick Up**  
脆弱性診断サービスにおいては、経済産業省より情報セキュリティサービス基準に適合するとして SSS マークを取得

登録番号：025-0022-20

### SIGのセキュリティマップ



## CLOUD

### AWS アドバンスティアサービスパートナーの認定取得

AWS Partner Network において「AWS アドバンスティアサービスパートナー」に認定されています。2013 年より AWS 上のシステム要件定義/設計/構築に取り組んでおり、豊富な経験や実績があります。現在では AWS 公式の認定資格保有者も数多く在籍しているため、AWS だけでなくさまざまな分野で経験豊富なエンジニアが、お客様のビジネスの成功を支援しています。その他、Azure (Microsoft のクラウドサービス)、GCP (Google のクラウドサービス) などにおいても幅広く手掛けています。



### - これから取り組まれたいことを教えてください。

先端技術に取り組む全社横断組織である「ITAC/CAIC」が中心となり、SIGPT を活用し、利用が想定されるであろう数々の検証を行ってまいりました。開発ツール (IDE) と連携した検証や、API を利用した実践的な検証 (PoC) を行っています。その結果、SIGPT は「単なるチャット AI」ではなく、「**開発の現場で役立つ AI**」として活用できる可能性が見えてきました。現在は得られたノウハウの整理やツールの比較を進めながら AI を開発支援に活用するための基盤づくりを進めています。また、IT に明るくない部署でも **AI を利用しやすい環境づくり**を大切にしています。そのために、社内で安全に使える AI 環境や体制整備を行っています。そして**安心・安全で、誰でも利用可能な AI 活用**をグループ共通の強みにしていきたいと考えています。

# HR Management

Chapter 09



人事総務部 採用グループ  
**桑畑 美玖**

人事総務部 採用グループ  
**森 亮慈**

株式会社SIGグループ  
人事総務部 部長  
**迫田 敏子**

人事総務部 採用グループ  
**川上 翔太**

## 人の成長が、 企業の未来をつくる

SIGグループでは、人材育成と働きやすい環境づくりを経営の重要テーマとしています。HR Management の考え方や人材戦略を支える取り組みについて、人事総務部長と採用グループに話を聞きました。

-最近、採用市場でも「働き方」や「成長環境」を重視する声が増えていると感じます。

SIGグループではHR Management についてどのように捉えていますか。

**迫田** SIGグループでは、「人」を一番大事な経営資源だと考えています。IT 業界って流れがとても速く感じませんか。だから、社員一人ひとりの成長が、そのまま会社の強さにつながる訳です。「働きやすさ」と「教育」、この2つをセットで進めていくことを大切にしています。

-具体的には、どのような取り組みを行っていますか。

**川上** 特徴的なのは、採用から育成、働き方までをバラバラにせず、全部つなげて考えているところですね。単にスキルがあるかどうかだけではなく、「自分から動けるか」「もっと成長したい」という気持ちを大事にして、入社した後のキャリアまで見据えた採用をしています。

**森** 面接をしても、「会社でどう成長できるか」を重視する学生さんが本当に増えたなという印象です。だからこそ、制度の話だけでなく、実際に社員がどんなふうに働いて、どんなキャリアを歩んでいるのか、リアルな事例を丁寧にお伝えするようにしています。

-働き方の面では、どのような取り組みがありますか。

**迫田** 多様な価値観やライフスタイルに寄り添えるように、テレワークや時差出勤といった柔軟な働き方を広めています。育児や介護をしながらでも、しっかり仕事を両立できる環境づくりには特に力を入れていますね。

**川上** オフィスカジュアルを導入したのも、その一環ですよ。自分らしくリラックスして働ける環境を作ることで、社内のコミュニケーションをもっと活発にしたいという狙いがあります。

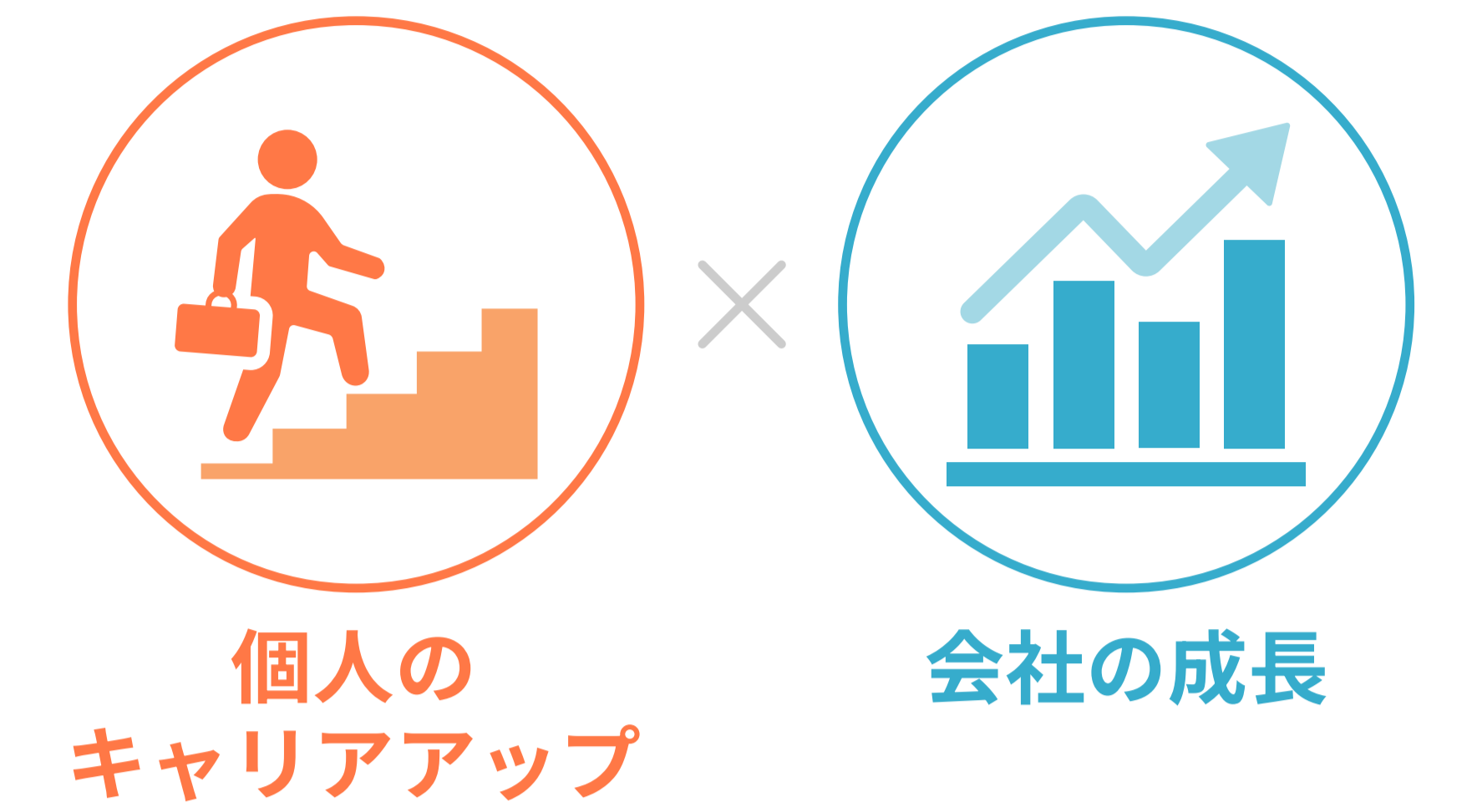
### 取 り 組 み

- ✓ テレワーク
- ✓ 時差出勤
- ✓ オフィスカジュアル など

**桑畑** オフィスカジュアルについては、若手社員や学生さんからも「いいですね！」という声をたくさんもらっています。会社のフランクな雰囲気を伝えるのにも、すごく役立っていると感じますね。

-人材育成については、どのような考え方をお持ちですか。

**迫田** 私たちは「自分から学ぶ姿勢」をすごく大事にしています。社員が自分なりにキャリアの目標を持って、主体的に成長していくことが重要だと思っているからです。もちろん、現場での経験（OJT）だけじゃなくて、会社としても体系的に学べるチャンスをしっかり作って、個人のキャリアアップと会社の成長を両立させたいと考えています。



**川上** そのために、自分の目標に合わせて選べるeラーニングを導入しています。これなら時間や場所に縛られず、コツコツ学び続けられますから。また、目標管理制度で上司としっかり話し合っ、進むべき方向を確認できる仕組みもあります。数字などの成果だけではなく、成長する「プロセス」もちゃんと評価することで、モチベーションアップにつながっています。

-IT企業として、専門性の強化も重要ですね。

**迫田** そうですね。資格を取ったり専門スキルを磨いたりするための支援は惜しみません。未経験の方でもOJTで実践を積みながら成長できますし、エンジニアが新しい技術にどんどん挑戦できるように「先端技術推進センター（ITAC）」も作りました。こうした取り組みが、個人の技術力はもちろん、組織全体の底上げにつながっています。

-多様性については、どのように考えていますか。

**迫田** 性別や年齢、今までの経験に関係なく、すべての人が活躍できる環境を整えています。様々なバックグラウンドや価値観を持った人が一緒に働くことで、新しいアイデアやイノベーションが生まれると信じているからです。

**森** 実際、違う視点を持ったメンバー同士で意見を出し合うことで、新しい提案につながるケースも増えてきていますね。

-教育体系についても教えてください。

**川上** 新入社員向けのものから、リーダー研修、等級別研修など、キャリアのステージに合わせた教育メニューを揃えています。研修を受講して終わりにするのではなく、その後のフォローも大事にしていて、ちゃんと実務に活かせるように工夫しています。

**桑畑** みんなの意見を聞きながら、研修の内容もどんどん見直しています。「受けて良かった」で終わらせず、実際の行動が変わっていくような、中身の濃い研修をこれからも目指していきたいです。

**研 修**

- ✓ 新入社員研修
- ✓ リーダー研修
- ✓ 等級別研修 など

-最後に、今後の方向性をお聞かせください。

**迫田** これからも「働きやすさ」と「成長できるチャンス」を両立させて、一人ひとりが自分の力を最大限に発揮できる組織を作っていきます。それが、SIGグループがずっと成長し続けていくための鍵だと思っています。

## 人材戦略について

事業運営において競争優位の源泉となる「業務理解に基づく上流工程対応力」「プロジェクトマネジメント力」「品質・セキュリティを担保する専門性」の実現に向けて、3つの方針を策定しています。

<b>01</b> 採用と育成による <b>高度 IT 人材の                  確保・育成</b>	<b>02</b> 育成と評価の連携による <b>プロジェクトマネジメント                  人材の強化</b>	<b>03</b> 人材の定着に向けた <b>働き方改革や                  評価制度の見直し</b>
----------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

## 従業員について

<b>従業員数</b>  <b>787 名</b>	<b>平均年齢</b>  <b>38.3 歳</b>	<b>採用者数</b>  <b>70 名</b>
<b>男女比</b>  <b>75.6% 24.4%</b> <small>男性 女性</small>	<b>離職率</b>  <b>5.0%</b>	<b>外国籍従業員比率</b>  <b>1.0%</b>
<b>平均勤続年数</b>  <b>9.4 年</b>	<b>月平均残業時間</b>  <b>10.9 時間</b>	<b>平均有給取得率</b>  <b>60.8%</b>
<b>平均育児休業取得率</b>  <b>37.5% 100%</b> <small>男性 女性</small>	<b>男女の賃金の差異</b>  <b>78.2% 76.9%</b> <small>正規雇用労働者 パート・有期労働者</small>	<b>役員及び管理的地位にある者に                  占める女性の割合</b>  <b>12.8%</b>

## 働きやすい環境の整備

### 健康優良企業の認定

2019年、健康保険組合と協力して健康企業宣言を行い、健康経営に関する取り組みを積極的に行っている企業として健康優良企業の証である「銀の認定」を取得しました。

#### 銀の認定とは？

企業全体で健康づくりに取り組むことを宣言し、一定の成果を上げた場合に健康優良企業として認定される制度です。

株式会社SIGグループ



株式会社SIG



### メンタルヘルスへの取り組み

メンタルヘルスへの取り組みとして、ストレスチェックテストや産業医との面談・カウンセリングを行っています。

### 福利厚生の充実

2026年、福利厚生の充実・活用に力を入れる企業などを認証・表彰する制度「ハタラクエール」にて、福利厚生推進法人に認証されました。

#### ハタラクエールとは？

厚生労働省後援の福利厚生表彰・認証制度で、福利厚生の充実・活用に力を入れる法人を表彰・認証しています。



### 子育てサポート

次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、その目標を達成した企業として、厚生労働省より「次世代認定マーク（くるみん）」を取得しています。

#### くるみん認定とは？

次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業に対して、厚生労働大臣から「子育てサポート企業」として認定される制度です。



また、育児休業制度や育児短時間勤務制度、子の看護等休暇制度などを設けています。

### 介護サポート

要介護状態にある家族がいる場合、介護休業・介護休暇を取得することが可能です。

※2025年度時点のデータを掲載しています。

※平均年齢、採用者数、離職率、平均勤続年数、月平均残業時間については、SIGグループおよびSIGを集計対象としています。

# Governance

Chapter 10

## 企業統治の徹底による、公平公正な経営を目指して

株式会社SIGグループ  
代表取締役副社長  
**八田 英伸**



SIGグループでは、社会的倫理や規範を遵守した企業統治を目指してガバナンス体制を整備しています。ガバナンスに関する考え方や取り組みについて、SIGグループ代表取締役副社長に話を聞きました。

### 経営を監督・統制するルール

#### - ガバナンスについての考え方を教えてください。

私たちは情報技術を社会インフラとして支える企業グループであるため、ガバナンスは仕組みというより経営の土台だと考えています。健全で透明性の高い経営を行うことが、お客様や株主、従業員といったステークホルダーの信頼に繋がるため、何より大切にしています。

特に重視しているポイントは、法令遵守とリスク管理です。

これは特別なことではなく、日々の意思決定や業務の積み重ねだと考えています。それを徹底することで、中長期的な企業価値の向上を実現します。



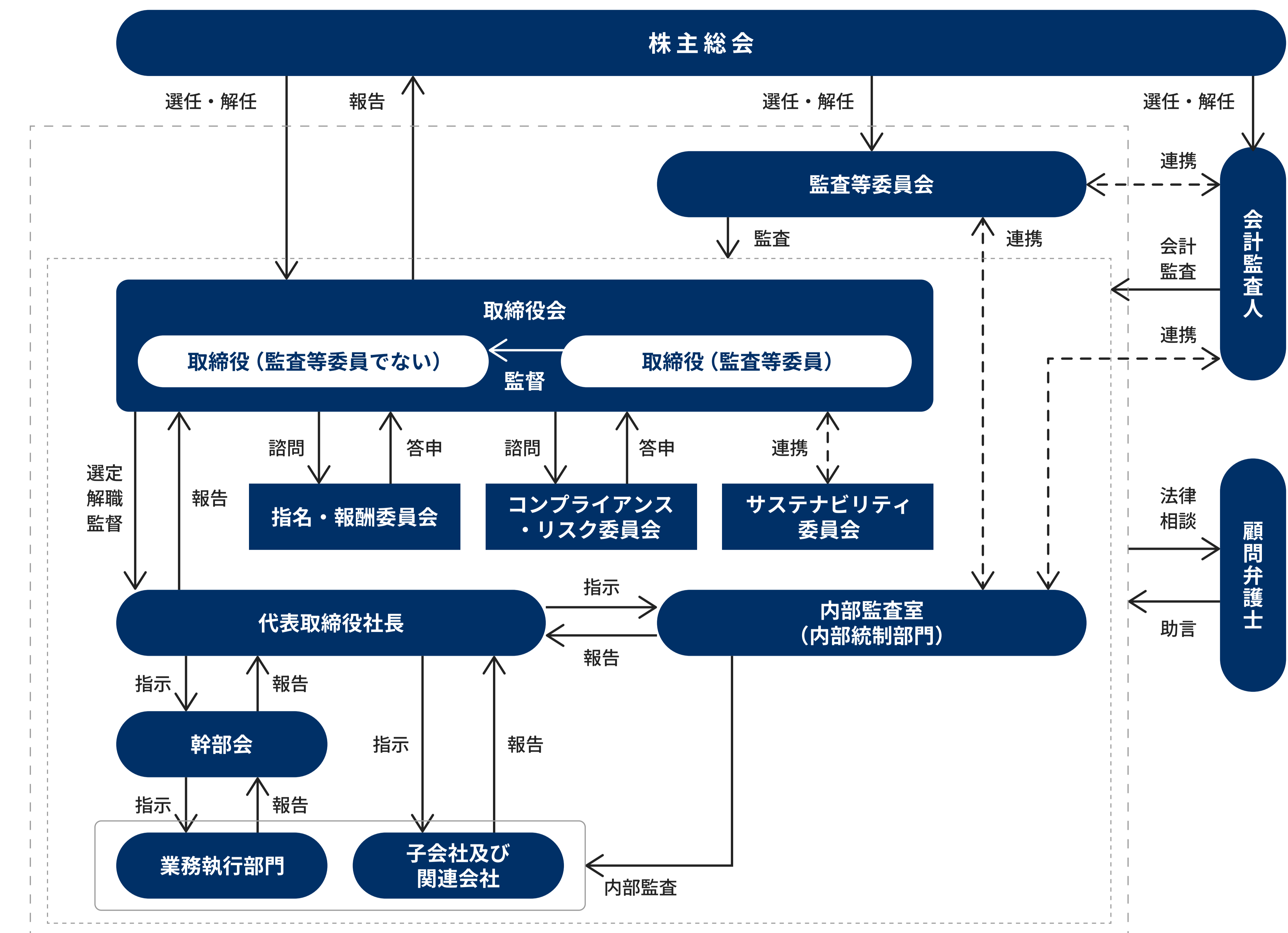
#### - ガバナンス体制について教えてください。

監査等委員会設置会社として、取締役会と監査等委員会がそれぞれの役割を果たす体制です。取締役会が業務執行をしっかり監督し、監査等委員会が独立した立場からチェックすることで、経営の健全性を保っています。

#### - 実務面ではどのように機能しているのでしょうか。

経営会議や各種委員会が日々の業務執行を支えていますし、内部監査部門や会計監査人とも密に連携しています。「形だけの体制」にならないよう、実際に機能しているかを常に意識しています。

## 企業統治の体制図



### 適切に運用されるための仕組み

#### - 内部統制システムについて教えてください。

取締役会で内部統制システムの整備・運用に関する基本方針を定め、方針に基づいて運用しています。目的はシンプルで、会社の業務が適正に行われているかを継続的に確認することです。

#### - 現場レベルではどのように浸透させていますか。

全従業員が法令や社内ルール、社会規範を守ることが前提です。そのうえで、コンプライアンス・リスク委員会や内部監査、内部通報制度を組み合わせ、実効性を確保しています。「気づいたら声を上げられる環境づくり」も重要です。

### 守るべきルール・行動

#### - コンプライアンスについてどのように考えていますか。

コンプライアンスは経営陣だけの話ではなく、従業員一人ひとりの意識が重要だと考えています。そのため法令遵守の重要性については、繰り返しコミュニケーションを行っています。

#### - 不正や問題が起きた場合の対応はどのようになっていますか。

万が一不正行為が発生した場合には、コンプライアンス・リスク委員会で原因究明や再発防止策を検討します。その内容を踏まえて内部監査室が再発防止に取り組み、内部通報制度を通じて問題を早期に把握できる体制も整えています。

POINT

### 心構え

- ✓ ルールを整えることだけでなく、きちんと機能させることを重視！  
→ 取締役会や監査等委員会を中心に、リスク管理やコンプライアンス、内部統制が日常の経営判断に組み込まれるよう意識しています。
- ✓ ガバナンスは現場から遠い存在になりがち。経営会議や各種委員会を通じて、現場で起きているリスクや課題がきちんと経営に届く仕組みを大切にしています。

## EcoVadis への対応

グループ会社のSIGでは、EcoVadisによる評価を受けており、環境、労働と人権、倫理、持続可能な調達などの観点で、自社の取り組みを客観的に見直す機会としています。外部評価を通じて、自分たちの立ち位置を確認できる点は非常に有意義です。

POINT

### グループへの展開

SIGでの取り組みをベースに、評価プロセスや考え方をグループ全体へ横展開していくことを検討しています。段階的にはなりますが、グループとしての底上げに繋がってまいります。



## 人権方針

人権尊重は企業活動の前提条件です。従業員はもちろん、取引先や関係するすべてのステークホルダーの人権を尊重することが、健全な事業活動に繋がると考えています。

### 重視するポイント

法令遵守を大前提に、差別やハラスメントの防止、多様な人材が安心して働ける職場環境づくりを重視。  
また、行動憲章や行動規範とも連動させながら、人権に配慮した判断・行動が当たり前になることを目指しています。



## 行動憲章・行動規範

行動憲章・行動規範は、「困ったときに立ち返る拠り所」です。  
法令遵守はもちろんですが、判断に迷う場面で何を基準に行動するべきかを示すものとして大切にしています。

### 従業員への浸透について

一度作って終わりでは意味がないため、研修や社内周知を通じて繰り返し伝えていきます。  
経営陣自身が日常の言動で示すことも非常に重要です。

## 環境方針

SIGグループはITサービスが中心のため、製造業等と比較すると直接的な環境負荷は大きくありません。一方で、事業活動を通じた環境配慮の積み重ねが重要だと考え、環境方針を定めています。

具体的には、ペーパーレス化や業務のデジタル化、省エネルギーへの配慮など、日常業務の中でできることを着実に進めています。無理なく継続できる形で取り組むことを重視しています。

### 基本方針

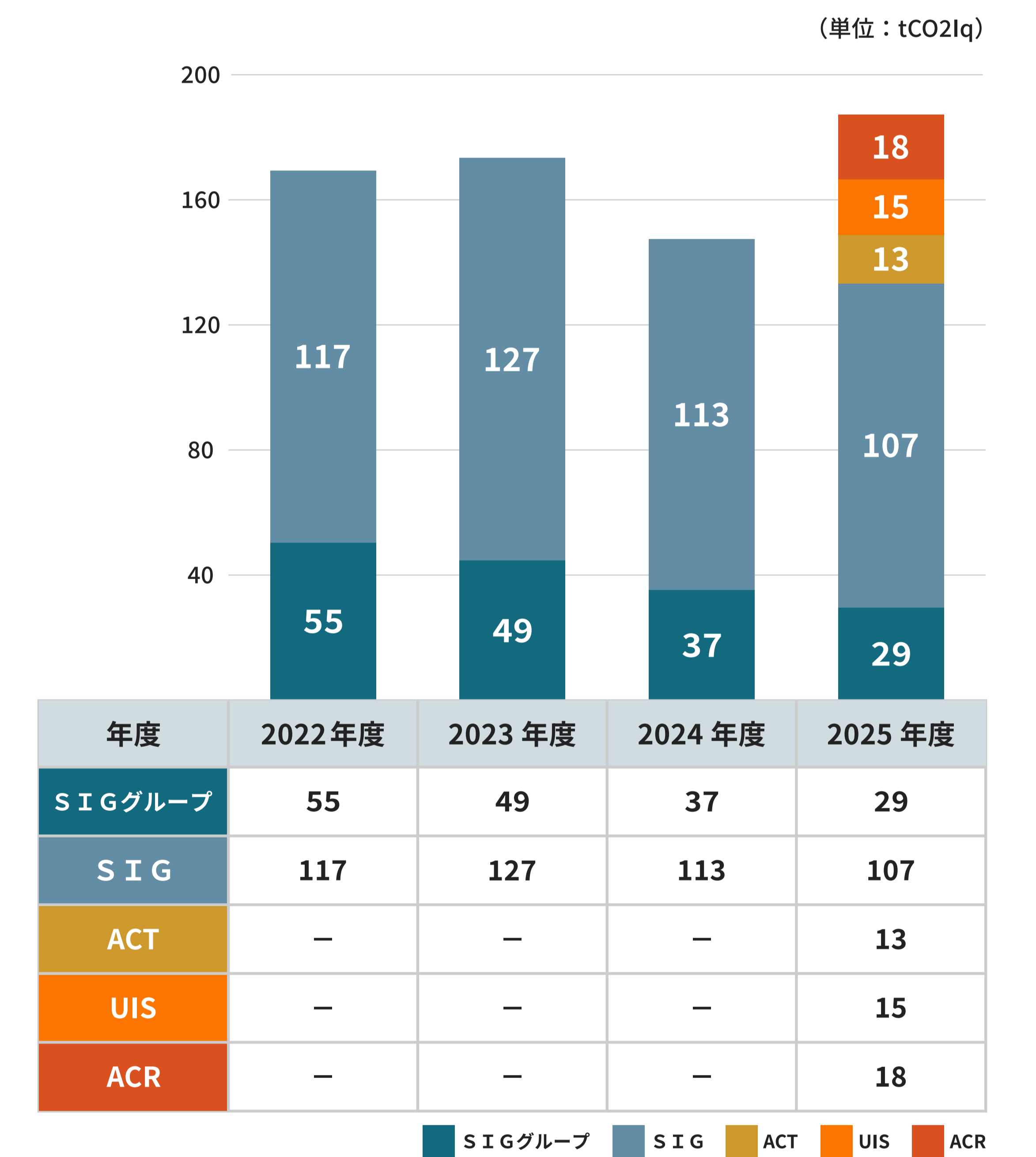
- ✓ 環境関連法規の遵守
- ✓ 自然環境への配慮
- ✓ 資源・エネルギーの有効活用
- ✓ 事業活動による地域環境改善への貢献
- ✓ 環境方針の実行・維持

## GHG 排出量の削減

GHG 排出量について、まずは自社の排出量を把握することが重要です。IT企業として、オフィス利用や電力使用など、Scope1・2を中心に現実的な対応から進めています。

急激な数値目標を掲げるよりも、データを整備し、改善の余地を見極めながら段階的に進めていきたいと考えています。  
また、グループ全体での可視化も今後の課題です。

### SCOPE2 電気消費量の推移



### これから取り組んでいきたいこと



一番は人的資本とガバナンスの実効性向上です。制度や方針は整ってきているため、それをどう活かすかに注力していきたいと考えています。

サステナビリティは特別な活動ではなく、日々の経営そのものです。SIGグループらしい現実的な取り組みを積み重ねながら、社会から信頼される企業グループであり続けたいと思います。



Social Innovation Generator

株式会社SIGグループ

〒102-0073

東京都千代田区九段北 4-2-1 市ヶ谷スクエアビル 8F

TEL : 03-5213-4580 (代表)

<https://www.sig-group.co.jp/>



# CLOUD

